

京都きもの友禅株式会社

(東証一部：7615)

2020年3月期 決算補足説明資料

2020年5月20日（水）

9年連続

振袖
売上
No.1[※]

※2010年度～2018年度 振袖小売金額ベース
(株)矢野経済研究所調べ(2019年6月現在)



- 当社の特色
- 2020年3月期 業績概要
- 2021年3月期 通期計画（未定）

■ 振袖を入口とした呉服販売

- 成人式対象者を新規客として毎年獲得（振袖購入・レンタル者 年間約1.5万人）
- 振袖33%、一般呉服44%、宝飾17%、レンタル6%（20/3期実績）

◆ 現金買取方式による安価な仕入

- 一流メーカーと直接交渉の上、高品質な商品を大量発注
- 同業他社は委託方式による仕入が一般

◆ メディアミックスによる効果的な集客

- 成人対象女性数の約80%へアプローチ
（2020年成人対象女性：約57万人（内、当社商圈人口：約45万人））

◆ オフィスビルを中心とした出店で出店費用を圧縮

- 1店舗当たりの出店コストは駅ビル等の1/2～1/3程度

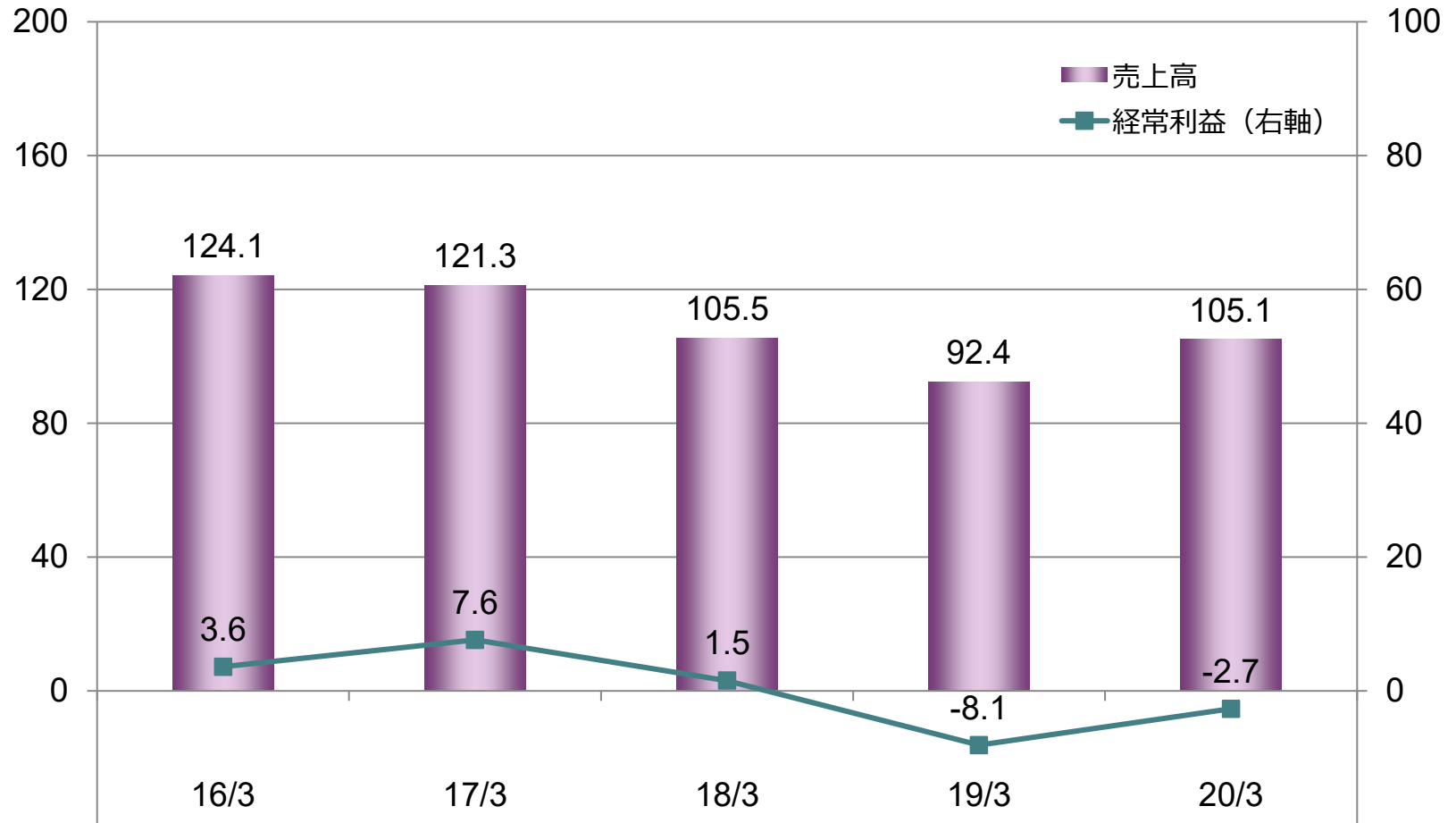
■ 友の会制度を中心とした優良顧客の確保

- 振袖成約者の母親を中心に約30%が友の会へ入会

2020年3月期 業績概要

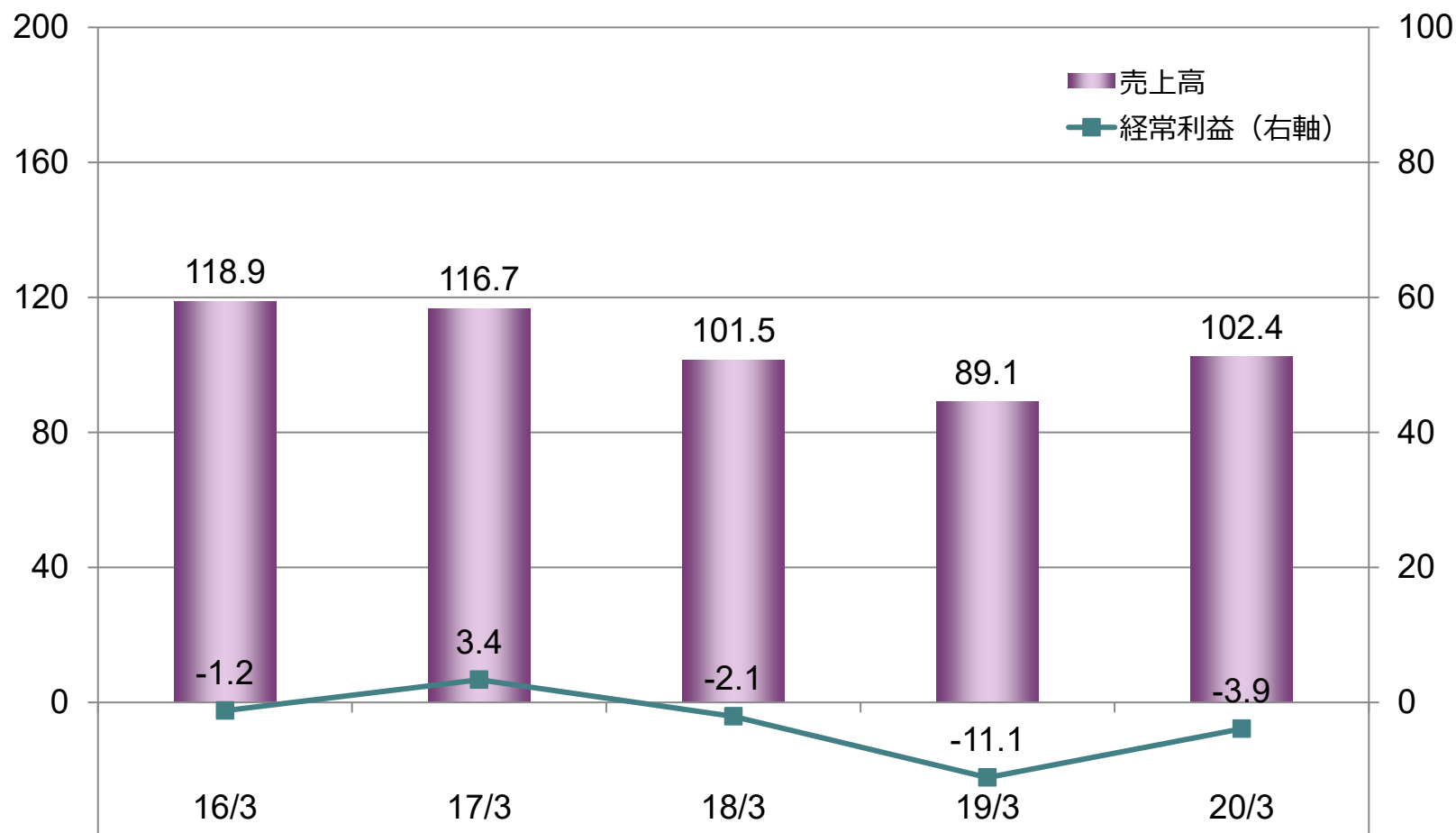
業績の推移（連結）

（単位：億円）



業績の推移（単体）（金融サービス事業除く）

（単位：億円）



損益抜粋（連結）

（単位：百万円、％）

	2019/3実績		2020/3実績		前年比	2020/3当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	9,243		10,258		111.0	10,974		93.5
売上高(出荷高)	9,241	100.0	10,514	100.0	113.8	10,944	100.0	96.1
売上総利益	5,809	62.9	6,530	62.1	112.4	6,947	63.5	94.0
販管費	6,733	72.9	6,908	65.7	102.6	7,159	65.4	96.5
内) 広告・販促	2,234	24.2	2,399	22.8	107.4	2,372	21.7	101.1
人件費	2,930	31.7	2,896	27.5	98.8	3,044	27.8	95.2
営業利益	△924	△10.0	△378	△3.6	—	△212	△1.9	—
営業外損益	111	1.2	108	1.0	97.0	68	0.6	158.8
経常利益	△812	△8.8	△270	△2.6	—	△144	△1.3	—
特別損益	271	2.9	△111	△1.1	—	△2	△0.0	—
当期純利益	△819	△8.9	△420	△4.0	—	△200	△1.8	—

1株利益(EPS)	△68.57円		△35.13円		—	△16.75円		—
-----------	---------	--	----------------	--	---	---------	--	---

【金融サービス事業および連結子会社の連結損益への影響額】

●金融サービス事業： 売上高 【343百万 (内部取引消去 △15百万)→連結寄与額 +328万】、経常利益【+238百万】

●友の会： 売上高 【135百万 (内部取引消去 △188百万)→連結寄与額 △52百万】、経常利益【+32百万】

損益抜粋（単体）（金融サービス事業除く）

（単位：百万円、％）

	2019/3実績		2020/3実績		前年比	2020/3当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	8,912		9,983		112.0	10,657		93.7
売上高(出荷高)	8,910	100.0	10,239	100.0	114.9	10,627	100.0	96.4
売上総利益	5,591	62.8	6,352	62.0	113.6	6,742	63.4	94.2
販管費	6,831	76.7	7,014	68.5	102.7	7,294	68.6	96.2
内) 広告・販促	2,233	25.1	2,399	23.4	107.4	2,372	22.3	101.1
人件費	2,914	32.7	2,882	28.1	98.9	3,028	28.5	95.2
営業利益	△1,239	△13.9	△663	△6.5	—	△552	△5.2	—
営業外損益	126	1.4	273	2.7	215.9	86	0.8	317.0
経常利益	△1,113	△12.5	△390	△3.8	—	△466	△4.4	—
特別損益	271	3.0	△109	△1.1	—	△2	△0.0	—
当期純利益	△1,015	△11.4	△528	△5.2	—	△508	△4.8	—

- 受注高・・・・・・・・・・期末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大が集客にマイナスの影響を及ぼしたものの、夏の繁忙期を中心に「振袖」販売において来店者数が増加したことと、一般呉服・宝飾受注も好調に推移したため、前年比+12.0%。
- 広告・販促費・・・・・・・・夏と冬の繁忙期にTVCMを放映したことを主要因として、前年比+165百万。
- 人件費・・・・・・・・・・期中平均人員数（前年同期比△11人、計画比△12人）

連結売上高 四半期ごとの推移

(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	前年比
1 Q	2,519	2,666	+ 147
2 Q	2,337	3,031	+ 694
3 Q	2,331	2,716	+ 384
4 Q	2,053	2,101	+ 48
通期計	9,241	10,514	+ 1,273

●第4四半期において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、売上高の伸びが失速。

連結営業利益 四半期ごとの推移

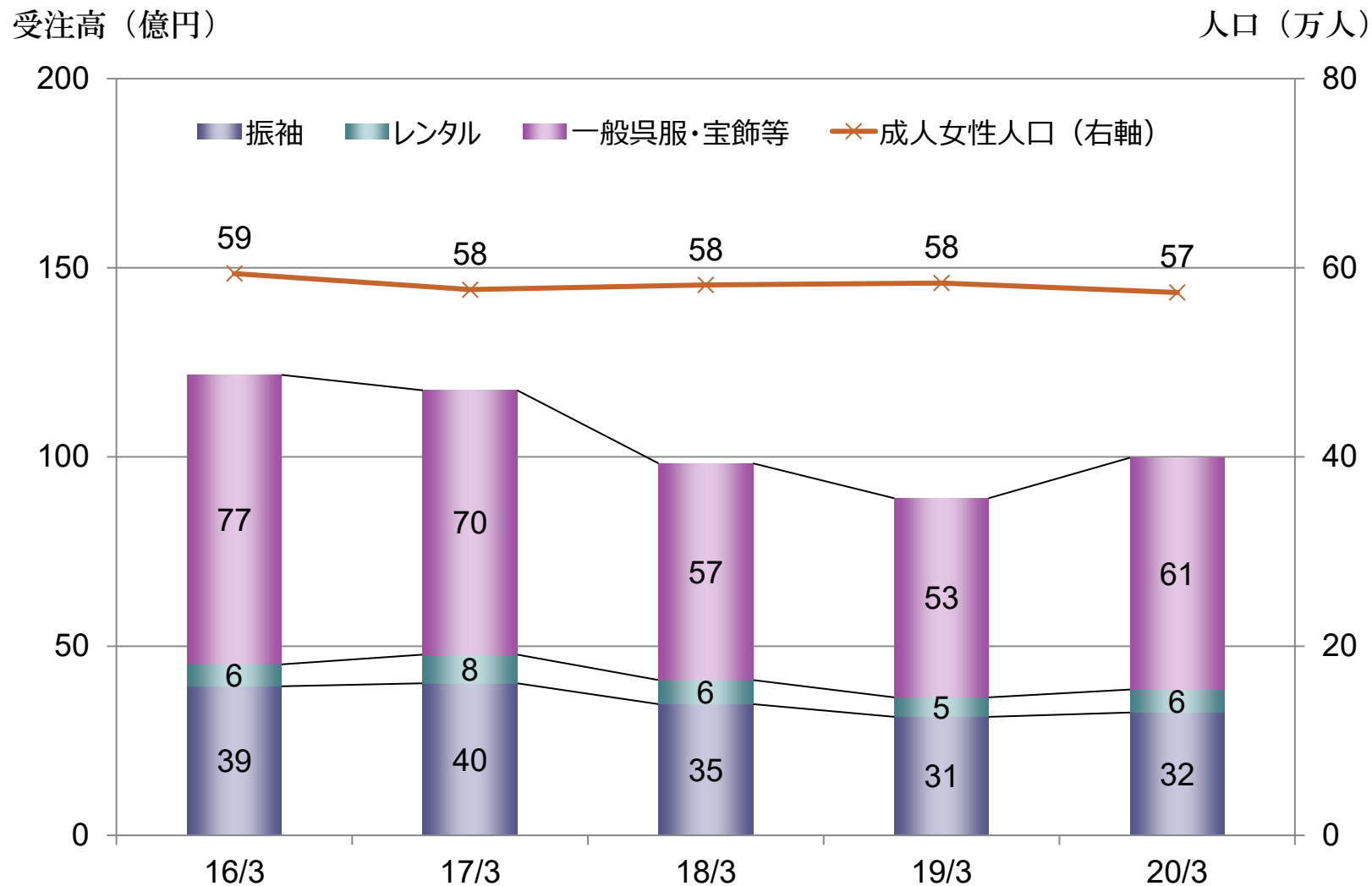
(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	前年比
1 Q	△ 86	16	+ 101
2 Q	△216	△ 54	+ 162
3 Q	△170	13	+ 183
4 Q	△452	△353	+ 99
通期計	△924	△378	+ 546

- 最大繁忙期である第4四半期において、CM、DM、WEB含め、大規模な広告投下を行ない、それに見合う以上の集客を計画していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、広告・販促コストは、ほぼ計画どおりのなか、集客・受注の獲得が著しく停滞し、当初想定していた4Qの利益が獲得できない結果となった。

受注構成比の推移



受注状況（振袖）

＜ 来店者数と受注件数 ＞

	2019/3	2020/3	増減
来店者数	19,865 人	20,129 人	+ 1.3%
受注件数（成約率）	12,078 人（60.8%）	11,697 人（58.1%）	△ 3.2%（△ 2.7 pt）
内）販売分	9,425 人（47.4%）	8,915 人（44.3%）	△ 5.4%（△ 3.1 pt）
内）レンタル分	2,653 人（13.4%）	2,782 人（13.8%）	+ 4.9%（+ 0.4 pt）

内）販売・レンタル含む受注状況

	2019/3	2020/3	増減
受注件数	12,078 人	11,697 人	△ 3.2%
平均単価	292 千円	322 千円	+ 10.5%
受注高	3,523 百万円	3,769 百万円	+ 7.0%

- 期末にかけて新型コロナウイルス感染拡大が集客に影響し、来店者数は前年比+1.3%。
平均単価は上昇し、販売・レンタル合わせた受注金額は前年比+7.0%。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、
 下半期の客数は夏季プロモーションほどのインパクトは得られなかったが、
 メディアミックスに紐づくクリエイティブ強化の成果で、振袖購入単価が著しく向上。
 ブランドへの信頼感向上・品揃え・商品価値への評価が得られた成果。

京都きもの友禅

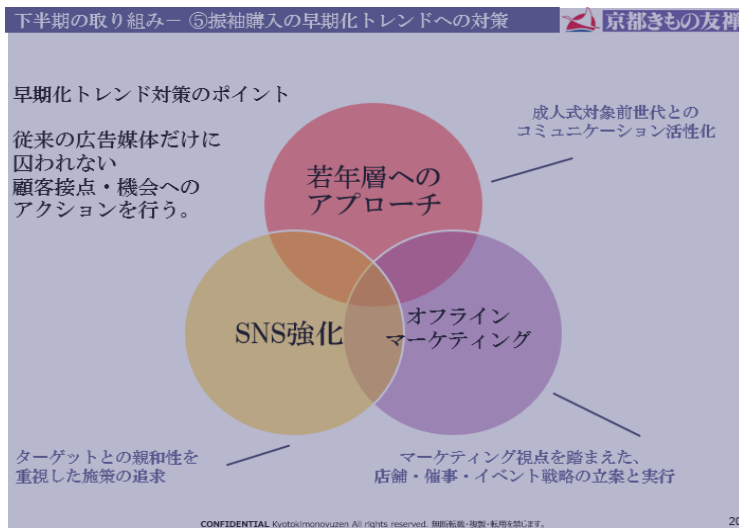


制作物

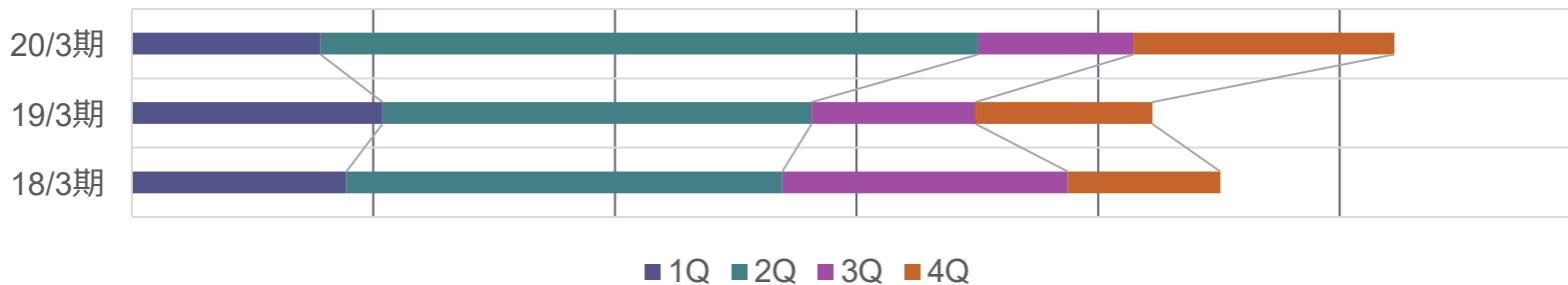
＜振袖購入・レンタル単価＞

	2019/3期	2020/3期	増減
上期	272千円	302千円	+11.1%
下期	312千円	353千円	+13.0%
通期	292千円	322千円	+10.5%

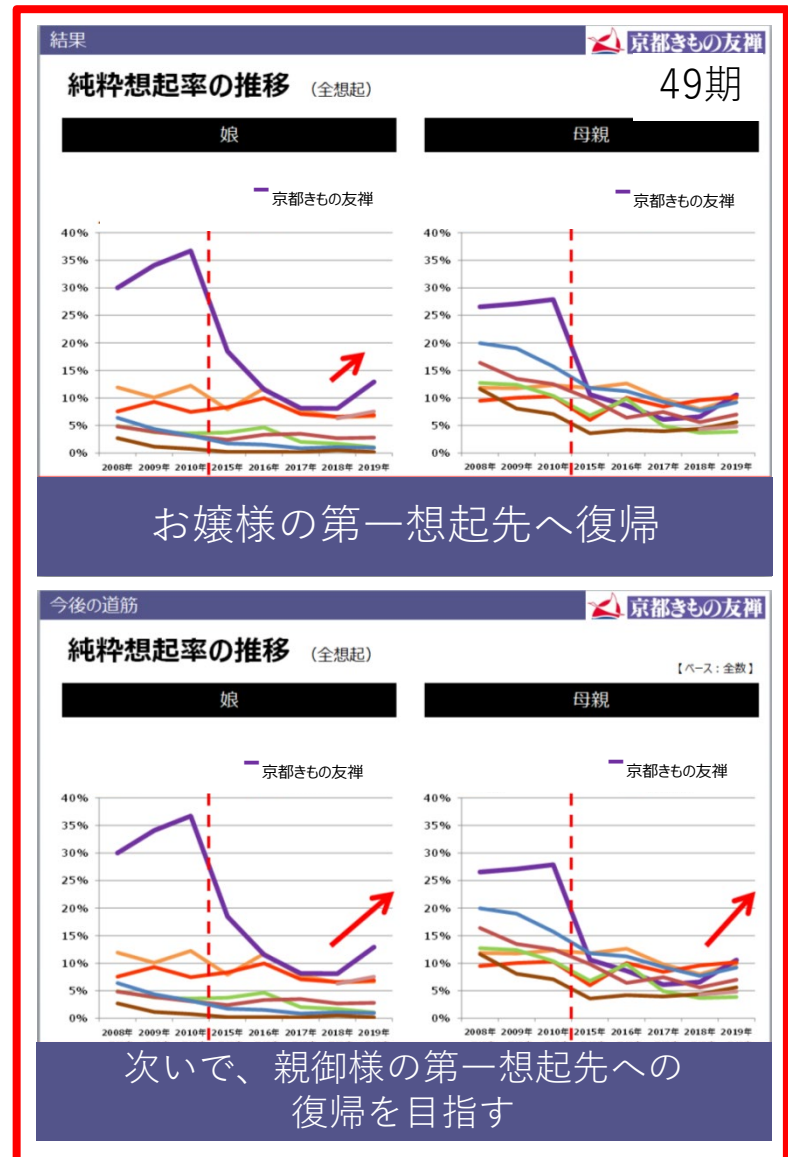
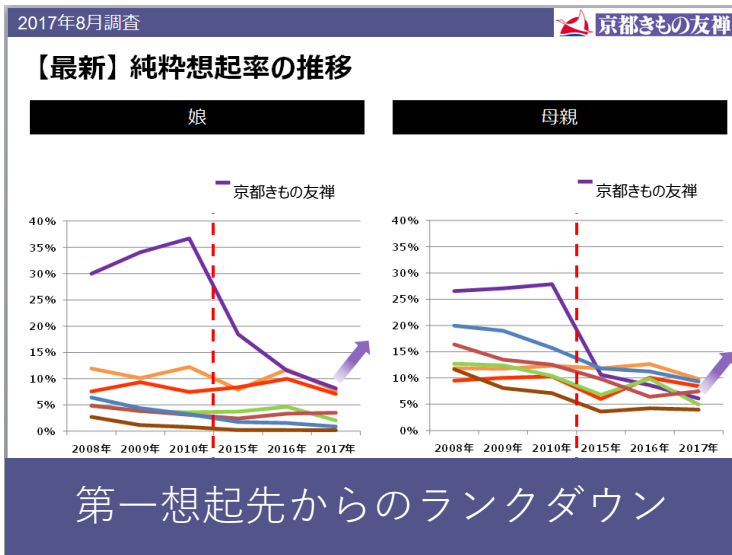
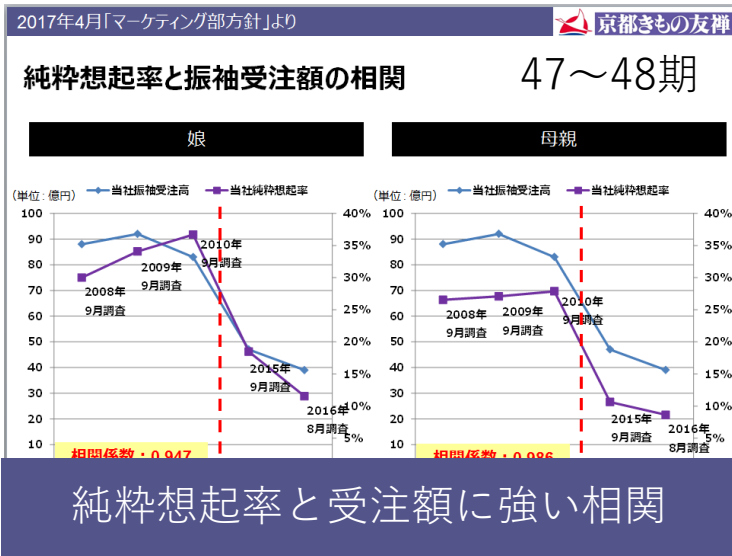
新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、
 下半期の総客数は夏季プロモーションほどのインパクトは得られなかったが、
 課題としている早期化への対応では一定の効果が得られた。
 引き続き対策をして参ります。



<再来年成人来店者数>



49期施策で想起率低下が反転。施策を継続し、競合他社との差を広げていく。



友の会の状況

(単位：人、百万円)

		2019/3	2020/3	増減
会 員 数		75,229	73,302	△ 1,927
利用 状況	会員による受注高	1,580	1,665	+ 85
	一般呉服等の受注全体に 占める比率	30.0%	27.1%	△ 2.8 pt
	平均購入倍率	3.0 倍	3.2 倍	+ 0.2 pt
積立残高総額		3,563	3,430	△ 133
内)積立完了未使用		2,874	2,778	△ 95
未使用の比率		80.7%	81.0%	+ 0.3 pt

- 振袖成約後の友の会入会率については、前年比△2.7ptの27.0%。
- 一般呉服・宝飾受注高の増加に比例し、会員受注高についても前年比+5.4%。

バランスシート (連結)

(単位：百万円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	増減
流動資産 (うち現金及び預金)	9,445 (3,675)	8,887 (3,575)	△559 (△100)
有形固定資産	205	138	△67
無形固定資産	37	50	+12
投資その他の資産	3,153	3,099	△55
固定資産	3,396	3,287	△109
資産合計	12,841	12,173	△668
負債	6,932	6,831	△101
株主資本	5,904	5,364	△541
その他包括利益累計額	5	△21	△26
非支配株主持分	—	—	—
純資産	5,909	5,342	△567
負債純資産合計	12,841	12,173	△668

【資産】

・現預金	△100M
・棚卸資産の減少	△94M
・割賦売掛金	△337M
・有形固定資産	△67M

※棚卸資産、割賦売掛金の減少は、主に3月度の受注が新型コロナウイルスの影響で減少したことによるもの。

【負債】

・買掛金	+7M
・前受金	△256M
・預り金	△132M
・短期借入金	+250M

※前受金の減少は、主に3月度の受注が新型コロナウイルスの影響で減少したことによるもの。

【純資産】

・利益剰余金	△571M
・自己株式の減少	+31M

※自己資本比率
(2019年3月末 46.0%)

新型コロナウイルス感染拡大の今後における影響を
現時点で合理的に算定することが困難なことから、
次期の連結業績予想につきましては、未定としております。
今後、見通しが立ち次第、適時適切に開示いたします。

(問合せ先)

経営企画部（白岩、弓削）

URL : <https://www.kyotokimonoyuzen.co.jp/>

E-mail : kky_ir@kyotokimonoyuzen.co.jp

注意事項

本資料に記載されている将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

これらの見通しは様々なリスク及び不確定要因を含んでおり、実際の業績は異なる結果となる可能性がございます。

なお、本資料に記載されている数値については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。